



しげもと 茂本ヒデキチ殿

■事績

東京在住。愛媛県松山市出身。松山北高校～大阪芸術大学デザイン科を卒業。

東京でデザイナーを経てイラストレーターに。墨絵でのイラストが話題となり、1991年に音楽の月刊誌「ミュージックマガジン」の表紙を飾る。そして次々とイメージを筆にのせ、広告各種をはじめ各地でのライブイベントで活躍。その活躍ぶりは広く海外でも話題となり、2000年にはナイキアメリカからのオファーで日本人初のバスケットシーズンTシャツが北米全店で発売される。

日本の画材『墨』によるドローイングを「躍動」をあやつるアーティストの代名詞とともに、スピード感あふれるタッチでミュージシャンやアスリートなど、既存の墨絵では描かれなかったモチーフを取り入れた作品は唯一無二の世界を確立する。

2013年に急性心臓弁膜症を患い長期の入院を余儀なくされながらも、その発想力、空間認識力、行動力はますます勢いを増すほどの復帰を遂げ、墨絵アーティスト茂本ヒデキチの名が世界に広がるスピードも加速。ライブパフォーマンスは北京、ロンドンのオリンピックプレイメントや大連の国際経済フォーラム、台湾、モスクワと世界各地で絶賛され現在もオファー多数。さらに日本の空の玄関、羽田空港で、東京オリンピックの日本選手団を応援する大ボードや航空機へと乗り込むボーディングブリッジにも登場。音楽のTOPミュージシャンとコラボレーションしてのライブペインティングや国際的イベントで活躍が続く中、高校美術の教科書に『新しい墨絵』として作品が掲載され、次世代を担う子どもたちへのワークショップなども精力的に行うなど、そのタッチ同様、躍動し続けるTOPアーティスト。

今年、愛媛県松山市で9月に開かれるハイレベル国際会議「G20 労働雇用大臣会合」のメインビジュアルポスターのデザインも茂本ヒデキチ作品。